

第3章

氣の流れが看れるようになる 間取りから感じる風水哲学

氣の流れのよい間取りからは、風水哲学を感じ取ることができます。氣の流れの判断材料をチェックリストにしました。風水のよい間取りを、あなたも見つけられるようになります。

本章では、第1章の琉球風水鑑定法の「氣の流れの鑑定」を現代住宅で実践する方法を解説します。琉球風水の5つの氣の流れが具体的にどのようなものか、部屋ごとにリスト化しました。住宅の氣の流れが読み取れるようになれば、同時に、風水的な改善策も導き出すことができます。

家づくりに不安を感じてしまうのは、明確な「判断基準」がないからです。「何かが違う」と感じた時、その「原因」がわかれば「対策」を考えることができます。

新しい価値を生み出す力は、現状分析の精度の高さにかかっています。逆を言えば、精度の高い現状分析ができれば、あなたの求める新しい価値を生み出すことができます。

現状を分析する力は、意識をどこに向けられるかで決まります。これまで見えなかったものも、意識を向けるだけで自然に見えるようになります。誰でも「氣の流れ」に意識を向けることができるようになることを目的に、チェックリストを作成しました。

住宅とは、設計のテクニック以前に、その根底にある考え方が源となって形がつけられています。氣の流れから考え方を読み取れるようになれば、自然とあなたの求める間取りに出会うことができます。

Feeling the Flow of Energy



Floor Plan

間取りの風水の見方

間取りの判断基準は何か？

Focus Point



物質 間取りから氣の流れを読み取ることができれば、暮らし心地よさが判断できる



考え方 暮らし心地の良さの内側には、その設計プロセスにある哲学が隠されている

間取りを決める時の判断基準はシンプルです。それは、間取りが設計されたプロセスにある「考え方」に、共感できるかどうかです。

物質的な氣の流れを見ると、その設計プロセスに「考え方」を感じます。風水の方位鑑定は、専門的に学ばないと実践は難しいものです。しかし、氣の流れや陰陽バランスは、感覚的に設計に反映されていることがあります。

氣の流れを読み取る力を身につければ、その間取りがつけられた「考え方」を理解できるようになります。あなたの価値観にあった間取りを決める「判断基準」を持つようになることをゴールに、本章をご活用下さい。

「感じ方」が変わる

住宅の風水は「間取り図」と「現場」の両面から判断します。「間取り図」からは、氣の流れやゾーニングをつかみ取ることができます。「現場」では、二次元的な平面図では読み取れない立体的な要素を確認できます。同じ空間でも「意識の向け方」が変わるだけで、「感じ方」が変わることを体感して下さい。

本章では、住宅の各空間の風水を解説しています。氣の流れ自体は目に見えないため、氣の流れをつくり出している形を、イラスト付きで解説しています。

さらに、全ての空間に「氣の流れチェックリスト」を用意しました。間取り図のチェックポイントと、現場でのチェックポイントの両方をリスト化しています。実際に氣の流れを意識することで、「氣の流れってこういうものか」という感覚を得ることができるでしょう。

本リストの内容が「Yes」であれば、チェックを入れて下さい。チェックがたくさん入るほど、氣の流れのよい、風水の良い間取りです。「氣の流れチェックリスト」PDF版も用意していますので、ご活用下さい。

※「氣の流れチェックリスト」PDF版(解説動画付)は、購入者5大特典ページ(p238)のURLよりお受け取り下さい。



Lily's Eyes 良縁がつながるためのご準備に

私は建築士資格を持っていないので、建築については基本的に素人です。建築家とはある程度の家づくりに関する話ができる知識はあります。しかし、私は設計図を描くことはできません。自分の技術力でコントロールできないので、安心してお任せできる方を選ぶことが、私にとって最も重要な仕事です。施主様にとっても同じだと思います。

どのようにしたら、理想の建築家を選ぶことができるのでしょうか。私が一番役立つと感じているのは、「間取り図の氣の流れ」を解説するスキルです。琉球風水鑑定の「氣の流れの鑑定」は、とてもパワフルです。なぜなら、間取り図には、建築家の考え方や生き方が現れているからです。氣の流れを読み取ることができれば、あなたの考え方に近い建築家を選ぶことができます。

新築で最もエネルギーを費やすのは、「その土地にどう家を配置するか」という建築アウトライン設計です。私の場合、風水師として、向きと配置、ゾーニングの方向性を伝えることはできます。しかし、要望を出せるのはラフな方向性だけ。設計図を描くのは建築家の仕事です。自分の力が及ばないので、建築家の力に委ねます。

建築家と一緒に土地を見て、意見交換し、法規制や建築的なポイントを聞きます。建築的な考え方に沿ったリクエストになるよう、風水的な要望を合わせます。私は「風水的にここだけは抑えてほしい」という構造的なポイントだけ伝えるようにしています。建築家のクリエイティビティを最大限に発揮してもらえらるほうが、絶対にいい図面ができるからです。なので、優先順位だけ明確に伝え、あまり細かいことは言わないようにしています。自分の力では到底たどり着けない世界が現れる前のワクワク感は、たまらないものです。

人は周波数を持っており、それは考え方で決まります。あなたにとって最高の建築家との出会いは、あなたの考え方が引き寄せています。理想の建築家に出会うための準備として、氣の流れを意識してみてください。

宇宙の本質

設計図面は建築家の「考え方」を体現し
あなたの「考え方」が図面を選んでいる

Entrance

玄関



①敷地の外側から玄関ドアまでのラインが、ゆるやかなS字カーブで描かれている

良い氣を招き、さらに増幅させる

玄関の理想的な氣の流れは、S字のラインです。第2章琉球民家の門口でお話した「ヒンプン」の機能がお手本です。外から家の奥が丸見えになることなく、プライバシーが守られている状態です。氣の流れが直線になるとスピードが速くなり、このような氣が当たる場所は心地悪く感じます。玄関の氣の流れは2ヶ所チェックします。門から玄関ドアへのアプローチ=①と、玄関ドアから家の内側へとつながるラインです=②。

風水では、とがった形状のものを「刃物」ととらえ、そこから生じる鋭い氣は人に悪い影響を与え、きかくこのとがった形状のことを「鬼角」と呼びます。玄関ドア

から入ってすぐの場所に、柱や収納が飛び出て鋭い角が向かっていないかチェックして下さい=③。

玄関の鏡の配置には、風水を良くするポイントがあります。玄関ドアの正面に鏡があると家の中に入った氣を跳ね返して外に出してしまいます。玄関ドアを入れて左右どちらかに鏡を設置すると、良い氣が増幅して住宅内を巡ります。玄関を通る家族全員の頭部が全て映り込む高さに設置します=④。

玄関ドアの正面にトイレや浴室のドアがある間取りを、財運が漏れる「漏財宅」と呼びます。これについては、次項の「トイレ」でイラスト付きで解説します。



Check List 氣の流れチェックリスト(玄関)

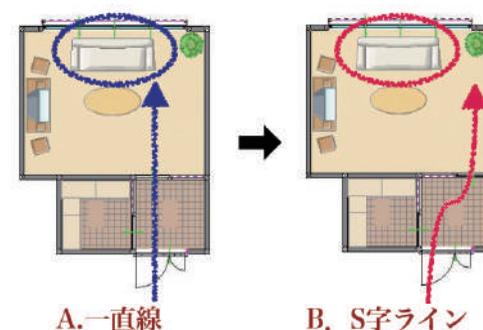
★ 間取り図でチェック

- 玄関ドアから住宅の奥の部屋へ一直線につながって
おらず、プライバシーが守られている=②
- 玄関ドアを入れて正面、及び、玄関ホールの対角線上
(財位)に窓がなく氣がもれない
- 玄関真上にトイレはなく、玄関の上から悪い氣が当た
らないので安心
- 玄関ドアの正面から一直線上に階段はない。氣が
すぐに上に上がらず1階に十分に巡るので安心
- 玄関ドアの正面にトイレのドア・浴室のドアがなく、
漏財宅ではない(次項参照)
- 問題となる鬼角はない。とがった先から生じる怪我な
どの不安がなく、安全である=③
- 適所適量の収納があり、片付く仕組みがある

● 現場でチェック

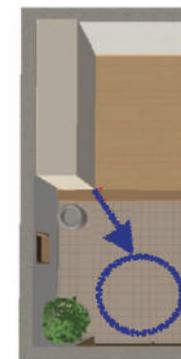
- 敷地の外側から玄関ドアまでのラインが、ゆるやかな
S字カーブで描かれている=①
- 正面の家の玄関ドアと自宅の玄関ドアが向かい合っ
てない。プライバシーが確保されている
- 直感的に、おだやかな氣が流れ、心地よいと感じる
- 光と風、自然の良いエネルギーが十分に入ってきて、
心地よいと感じる
- 玄関の天井に梁はなく、玄関の上から悪い氣が当た
らないので安心
- 玄関ドアの正面に鏡はない。玄関から入った氣が、
跳ね返ってすぐ外に出ていかず安心
- 玄関を入れて左右どちらかの壁に、家族の頭が全て
入る高さに鏡がある or 鏡を設置できる=④

②玄関ドアからリビングへのライン



玄関ドアとリビングのドアが一直線につながっていると、住宅の奥にスピードの速い氣が入っていく。外からの視線にさらされ住み心地が悪く感じる=A。引違いドアの使い方を右側から入る習慣に変えただけで、氣の流れをS字に改善=B。琉球民家のヒンプンの原理を応用している

③鬼角きかく



鬼角があれば、アールをつける、コーナーガードで丸める、角の前に観葉植物を置くなどして鋭い氣を和らげる

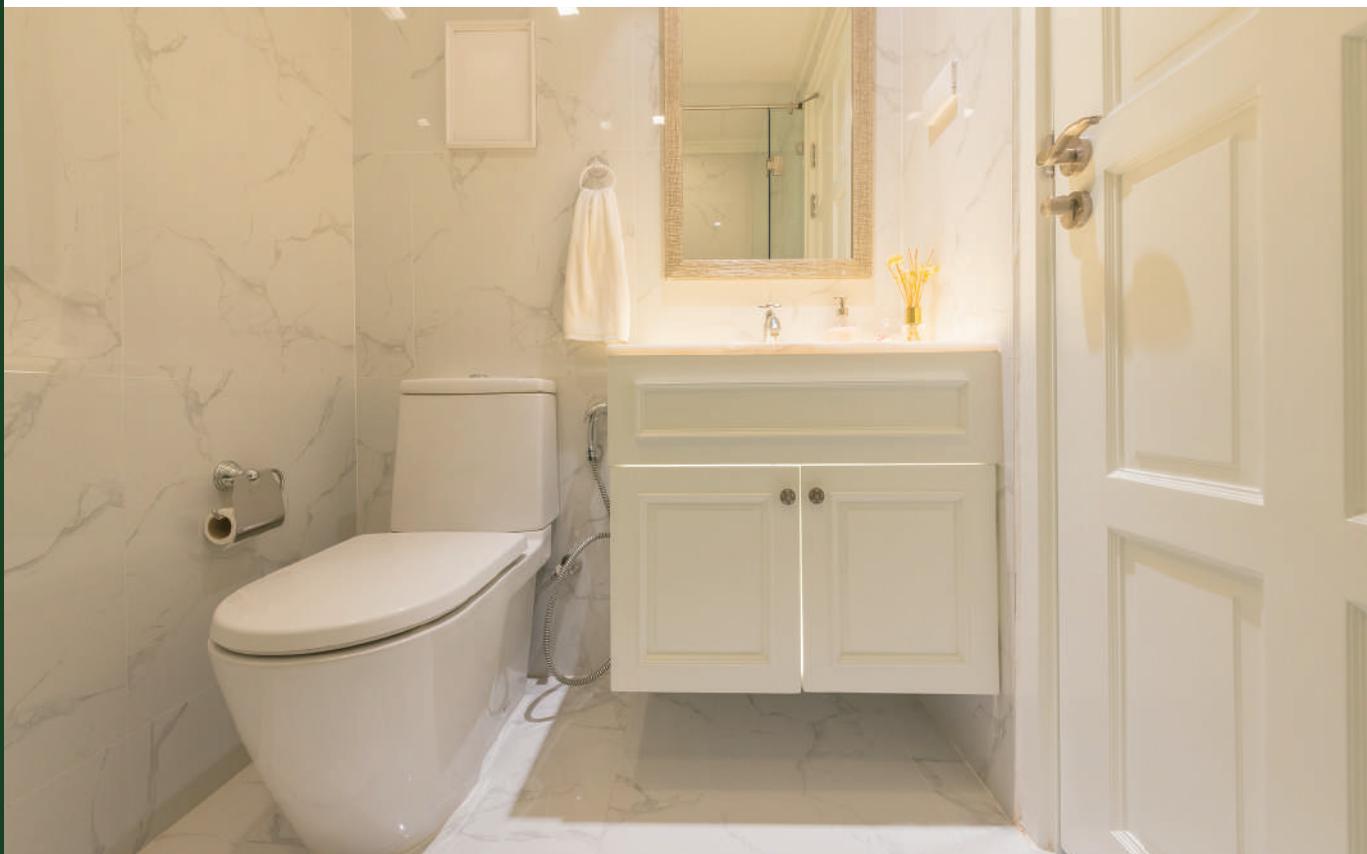
④幸運を招く鏡



玄関の鏡は配置と高さが重要。鏡の前に植物や花を映り込ませると良い氣が増幅して家の中に入る

Toilet

トイレ



トイレの配置で財運は決まる

住宅は、玄関から様々な気を取り込みます。そして、玄関から入った運気が出て行く場所がトイレです。風水では配置の難しい空間の一つです。

最も避けたいのは、財運が漏れ出る配置です。「トイレ・浴室が住宅の中心にある=①」「トイレ・浴室のドアが玄関ドアの正面にある=②」間取りを、「漏財宅」と呼びます。図面をチェックする時は一番に確認します。

住宅の中心は「太極」とよび、住宅の気が集まってくる場所です。人が長く過ごす部屋にするのが適しています。風水的には中心にトイレや浴室があると、集まってきた気が水と一緒に流れ出てしまうと考えます。生活の機

能面では、臭いの問題や、給排水の配管が中心にくるため、故障した時の修理に手間がかかります。

トイレが玄関の正面にあると、風水では玄関から入った気がそのままトイレの水に入り、流れてしまうと考えます。生活の機能面では、玄関から入ってくる人とトイレから出る人が鉢合わせします。トイレの水を流す音も、トイレの臭いも玄関にへ漏れていきます。

また、リビングやダイニングなどのパブリック空間にトイレのドアが面していないほうが、心地よく過ごすことができます。トイレはプライベートが守られ、落ち着いて過せる配置であることが理想です。



Check List 氣の流れチェックリスト(トイレ)

★ 間取り図でチェック

- 住宅の中心にトイレはなく、住宅の中心に集まった気が漏れ出ないので安心
- 玄関ドアの正面にトイレのドアはなく、玄関から入った気が一気に漏れ出ていない
- トイレは玄関から離れた奥まった位置にあり、落ち着ける空間になっている
- リビング・ダイニングからトイレへの来客動線はよく、プライベートが守られている
- 玄関の真上にトイレはなく、トイレの低いエネルギーが玄関へ影響していない
- 各部屋のドアの正面に、トイレのドアがない。各部屋にトイレの悪い気が入り込まない
- リビング、ダイニング、キッチンから直接トイレのドアが見えていない。プライバシーが守られ、衛生的で安心

● 現場でチェック

- 直感的に、おだやかな気が流れ、心地よいと感じる
- 窓があり、明るさはとれている。湿気がこもらず快適
- 適所適量の収納があり、片付け仕組みがある

①漏財宅(住宅の中心)



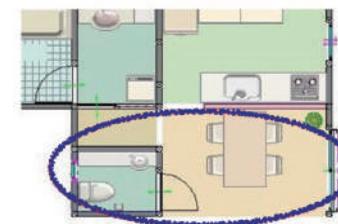
住宅の中心は、その家の気が集まってくる重要な場所。琉球民家ではご先祖様を祀る仏壇が置かれていた。トイレがあると集まった気が漏れ出てしまう

②漏財宅(玄関ドア正面)



玄関ドアの正面から一直線上にトイレのドアがある間取り。玄関から入った財運の気は、住宅の中を巡ることなくトイレの水に入って一気に漏れ出る。財運が漏れ出るだけでなく、プライバシーも守られていないため、住み心地も悪い

③ダイニングに面したドア



トイレから発せられる臭いなどの悪い気がパブリック空間に広がる間取り。食事中、来客中にトイレの出入りが視界に入り、誰にとっても心地悪い

Bath Room

洗面所・浴室



浄化して美しく輝かせる空間

洗面所と浴室はプライベート空間です。住宅の奥側に配置されていると理想的です。来客の動線や視線を気にする必要がなく、プライバシーが守られているでしょうか。トイレ同様、浴室の配置が漏財宅になっていないか、まず確認を。住宅の中心に浴槽がある間取り、玄関ドアの正面に浴室のドアがある間取りは漏財宅です。

洗濯動線はしっかりとチェックを。洗濯機と物干し場との動線が近いと、毎日のお洗濯も楽です。LDや寝室などの人が長時間過ごす空間に、洗濯物を部屋干しすることを前提にして家を建てないようにして下さい。生活感が出て美しくないだけでなく、住まいの水の気が淀み、空気

の質が落ちます=①。洗濯機や乾燥機など、洗面所では家電は何を使いますか。家電で窓をふさぐことがないよう、生活をイメージして間取りを確認します=②。

洗面所はプライベート空間ですが、お客様も利用するパブリック性がある場合も多いと思います。お客様が来て安心して使ってもらえる洗面所のポイントは、「生活感のあるものを表に出して置かないこと」です。タオルやマット類はもちろん、歯ブラシや化粧品などの小物がきれいに収納できるでしょうか=③。間取りをチェックする時は、洗濯ものの置き場まで確保できているかも、しっかり確認して下さい=④。



Check List 氣の流れチェックリスト(洗面所・浴室)

★ 間取り図でチェック

- 浴室のドアが玄関ドアの正面になく、漏財宅ではない
- 浴槽が住宅の中心になく、漏財宅ではない
- 来客や他の家族の利用への配慮があり、浴室利用時のプライベートは守られている
- LDと洗面所との来客動線は快適
- 浴室と寝室との動線は快適
- 洗面所、脱衣所、洗濯機との動線は快適
- 洗濯物を干す専用スペースが十分にある=①
- 洗濯機から物干し場への動線は快適=①
- 来客の洗面所の利用にストレスはない(洗面所と脱衣所が同じ空間の場合など)

● 現場でチェック

- 直感的に、おだやかな氣が流れ、心地よいと感じる
- 水廻りの淀んだ空気がパブリック空間に流れ込んでこない
- 窓があり、明るさはとれていて、家電や家具が窓をふさぎ、風通しもいい=②
- 浴室は、外からの視線が気にならず、プライバシーが守られている
- 洗面台の設備や収納家具など、上質な建材で、機能性、デザイン性に満足できる=③
- 洗濯バスケットを置く場所が確保され、適所適量の収納があり、片付け仕組みがある=④

①物干し場



洗濯機と物干し場との動線はできるだけ近くに。雨が降った時にどうするかも考え、室内に干す場合、専用のスペースを準備して

②窓



洗濯機の上に乾燥機を取り付ける場合は、窓を塞ぐことがないかご注意を。ハイサイドライトなら鏡の上からでも光が取れる

③収納



洗面所に必要なものを書き出し、収納できるか確認を。造り付け家具がほぼ100%の空間。狭い空間を後から広げることができない

④洗濯バスケット



扉の内側に隠して置くことができるか、蓋付きのバスケットが格納できる場所があるかチェック。汚れた洗濯物が見えない暮らしに

Kitchen

キッチン



豊かさが寄り満つる美しい聖域に

キッチンは氣を入れる場であり、生命を育む聖域です。パブリック空間のLDと近いつながりがありつつもプライベート性の高い空間です。住宅の奥側にあると安心です。キッチンは玄関から離れた位置にがあるほうが、プライバシーが守られます=①。

料理と洗濯の家事動線の良さは重要ですが、キッチンの入口と水廻りのドアが向かい合わないようにします=②。洗面所や浴室は基本的に汚れを落とす場で、衰退した氣が排出される空間です。水廻りの不浄な氣がキッチンに入りこんでいないか、氣の流れをみてください。

玄関から冷蔵庫への買物動線、LDへの食事や飲み物

を運ぶ動線が良いと毎日が快適です。配膳や後片付けなどを、家族がお手伝いしやすいキッチンは、自然と人が集まります。「作業スペースが十分にある」「複数の人がキッチンに入れる」「LDからキッチンの中の人様が見える」など、家族のコミュニケーションがとりやすくと、ダイレクトに家族の幸せにつながります。

コンロは、背後に入口がこないように設置します。コンロのつまみの向きは、内側に向けてと豊かさが集まります=③。キッチンは女性が長い時間過ごす場所で、長い年月にわたり使う設備です。キッチンの扉も住宅全体の世界観と統一し、美しくまとめたい空間です。



Check List 氣の流れチェックリスト(キッチン)

★ 間取り図でチェック

- 玄関ドアの目の前、玄関からLDへの動線上にキッチンはなく、食事をつくる場のプライバシーが守られている=①
- 水廻りとキッチンの入口が向かい合っていないので、流れた氣がキッチンに入り込まない=②
- 調理中の背後に不安を感じることなく安心=③
- コンロのつまみは内側に向いている=③
- 調理中の身体は家族に向き、安心
- LD、及び、洗濯室への家事動線は快適
- コンロ(火)とシンク、及び冷蔵庫(水)は隣り合わないように配置できる。→火と水が衝突していない
- コンロの上に階段、梁はない
- 適所適量の収納があり片づく仕組みがある

● 現場でチェック

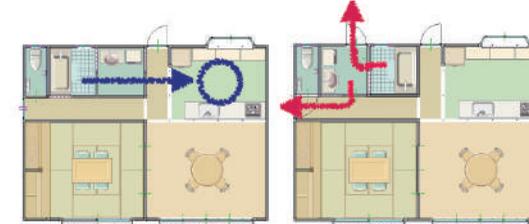
- 直感的におだやかな氣が流れ、心地よい
- 窓からの眺めがよく、光と風、自然の良いエネルギーが十分に入ってきている
- 自然光と照明で十分な明るさがある
- 食材を置く場所に、日光が強く当たらない
- 家電やゴミ箱の置き場が確保されている
- キッチンカウンターの高さは身体に合っていて(身長÷2+5cm)、快適に作業できる
- コンロの近くに窓はない。→火の安全が守られ、コンロのエネルギーが低下しない
- キッチンの設備や収納家具など、上質な建材で、機能性、デザイン性に満足できる
- キッチンと住宅のデザインに統一感がある

① プライバシーを守る



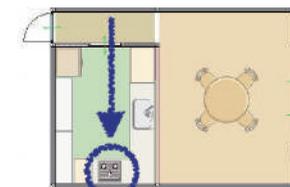
玄関からキッチンがすぐに見える間取りや、玄関からリビングへ行く際の動線上にキッチンがあると、プライバシーが守られない

② 水廻りのドアと向かい合わない



トイレ、洗面所、浴室から排出される不浄な氣が、食事をつくり、生命エネルギーを入れるキッチンに直接入り込まないように。キッチンの入口と、トイレや洗面所などの水廻りのドアが向かい合わないように

③ 背後の入口は避ける



コンロの背後は、安心感が得られるように。コンロのつまみを外側に向けては、食べ物が外に流れ出てしまうことを象徴している

Bed Room

寝室



脳から幸福ホルモンが出る安心感

寝室の風水というと、まずは枕を向ける方位が気になる方も多いと思います。確かに琉球風水でも枕の方位を看ますが、優先順位は高くありません。暮らし心地のよさを考え、住まいに風水を取り入れるのであれば、「眠りの質を高める」ことを優先します。風水で寝室の形を調べると、健康な毎日を過ごすことができます。

氣の流れ良くベッドを配置するには、そのフレームとなる住宅の壁や窓、ドアの位置が、適切であることが条件です。家を建ててからでは、修正できません。しかし、最初の設計図を作成する時点で正しい知識があれば、風水の良い寝室をつくることは、簡単にできます。

寝室を設計する最優先ポイントは、ベッドの配置です。ヘッドボードは壁に向け、斜め前方にドアが来るように配置します。窓は、ベッドの頭上と足元にはなく、左右どちらかに空けてあるのが理想です=①。

凹凸のないきれいな立方体が、理想的な寝室の形です。頭上に梁やエアコンがくると、氣が圧迫され眠りの質が落ちます=②。寝ている身体の上のぶら下がり照明、ベッド脇の背の高い家具は、地震の時の安全性が低く、無意識で安心感が得られません=③。寝室の収納は、造り付け収納が安全です。電磁波の悪影響から解放されるため、コンセントは枕元から離して設置します=④。



Check List 氣の流れチェックリスト(寝室)

★ 間取り図でチェック

- 玄関から奥まった配置にあり、安心感がある
- ガレージ真上、キッチン・トイレの真上、真下、隣、真向かいに寝室はなく安心
- ベッドの頭を壁に向けて配置できる(ただし、頭を向ける壁に水道管や電気配線は通っていないこと)
- 窓はベッドのサイドにあり、枕を向ける方向や足元の延長線上にはない=①
- 足元側に入口がくるようにベッドを配置できる(ただし、ドアの真向かいにベッドは置いていないこと)
- 十分な収納があり、収納家具の追加不要で、安全な環境で眠ることができる

● 現場でチェック

- 頭上や寝ている身体の上に梁はない=②
- エアコンは頭上にこないように設置できる。寝ている身体にエアコンの風が直接当たらない配置にエアコンを設置できる=②
- 理想的なベッドの配置に対して、照明を安全性高く設置できる=③
- 頭の近くにコンセントはない。家電、電磁波による健康被害がなく、よく眠れる=④
- 寝ている身体に向かう鬼角^{きかく}はない。安全で健康が守られている
- 寝ている身体を映し出す場所に鏡がない。→鏡から跳ね返る強い氣が身体に当たらずによく眠れる

①窓はサイド



窓はベッドのサイドにあるのが理想的。光や風など動的な氣の影響を強く受けず、落ち着いて眠ることができます

②梁



最適な配置にベッドを置いた時、梁の下にベッドのヘッドボードがこないように。エアコンも同様に頭上にこないように

③照明



吊り下げ型の照明は、寝ている身体の上をこないように。地震で落ちてこないとは限らないため、不安を感じる

④コンセント

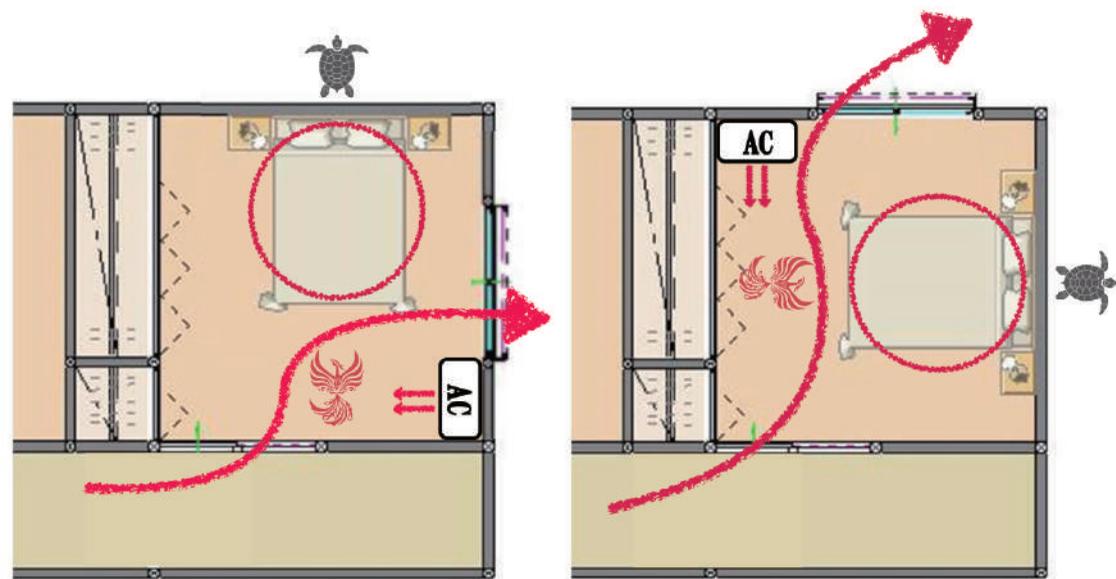


コンセントは枕元から1.5m以上離すように。枕元にある場合は、この部分のプレーカーを落とすか、電磁波対策を

Bed Layout

寝室の風水レイアウト(既存住宅)

理想的なベッドの配置にする手順



今お住まいの住宅の寝室の様様替えや、お引越しで新居に入居する際にお役立て下さい。

1. ベッドの頭の位置を決める

入口ドアから見て対角にある壁に、ベッドのヘッドボードをつけます。頭上に梁がこないように。ベッドを向ける壁には、水道管や電気配線が入っていないことを確認して下さい。

2. 窓の位置を決める

窓はベッドの左右どちらかの側面にくるようにします。頭上に窓があると、窓から光や風、音などの気が入ってきて落ち着かないため眠りを妨げます。

3. 収納の位置を決める

隣の部屋と接する壁に収納があると、音が伝わりにくくなり、防音の効果があります。倒れる危険があるため、寝室には背の高い収納家具を置かないように。

4. 鏡に気をつける

寝室の鏡は風水では悪い影響のほうが強いです。特に、寝姿を映す鏡は、望ましくありません。造り付け収納を設置する際は、鏡付の収納扉を避けます。ドレッサーを置く場合は、寝姿を映し出さないように。

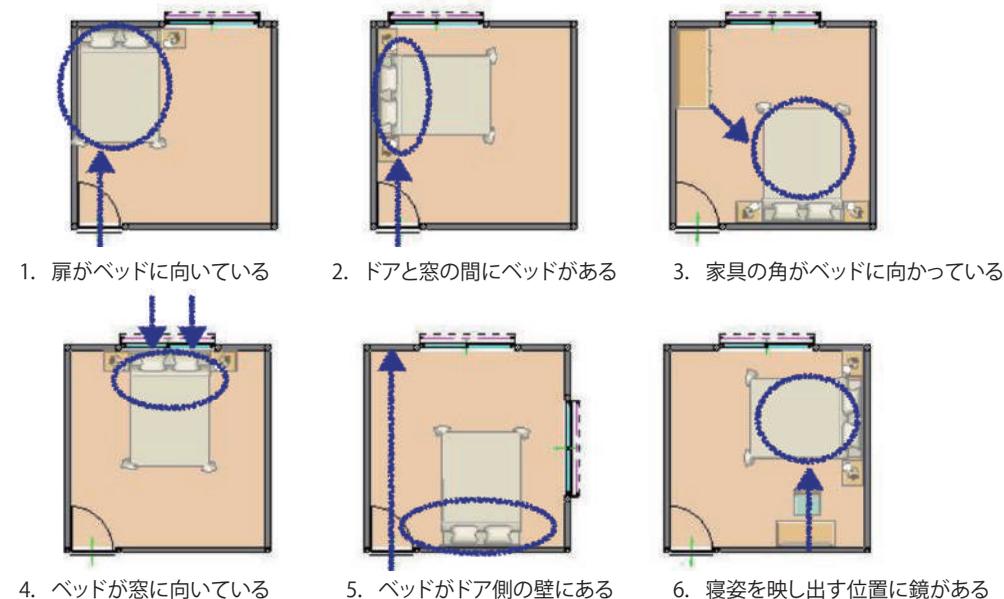
5. 動線を確保する

使用する予定のベッドの寸法を測り、壁や収納家具とベッドの間の通路の幅が600mm以上とれているか確認します。

6. エアコンの位置を決める

エアコンは頭上にこないように。また、寝ている身体に直接エアコンの風が当たらない位置に設置します。エアコンはベッドの足元側が適しています。

心地悪いベッドの配置例



Lily's Eyes ぐっすりと眠れる寝室にするために



ベッド脇の鬼角=③を白のモールディングでカバー。鬼角から発する悪い気を、デザイン的にも美しく改善し、健康に過ごせる安全な環境に改善

理想的なベッドの配置の基本を押さえつつ、風水的に避けなくてはいけないポイントも覚えて下さい。もしあなたが今の寝室をなんとなく心地悪いと感じていたら、上図「心地悪いベッドの配置例」から、その原因がわかるかもしれません。

ベッドがドアの目の前にあると、入口から入ってくる気が直進して寝ている身体に当たり、プライバシーが守られません=①。ドアが頭の真横にあるのも気が素速く頭部に当たります。ドアの向かいに窓があると、さらに気が速く流れます=②。家具の角や柱の張り出した角は鬼角^{きかく}です。鬼角が寝ている身体に向かってると、その鋭い気が当たる身体の部分に不調が出ることがあります。

ベッドの頭は窓に向けないように=④。窓にしかベッドの頭を向けられない場合、遮光カーテンで気の出入りを穏やかに。木製の内窓を設置できると、壁があるのと同じくらい落ち着きます。ベッドの頭がドア側を向いている配置は、誰かが入ってきてもすぐにわからないため、常に脳が不安を感じます=⑤。寝姿を映し出す鏡があると、鏡から寝ている身体に気が強くあたります=⑥。寝ている間はカバーをかけて鏡を隠して下さい。安心して穏やかに眠る環境をつくるために、風水の知恵をお役立て下さい。

Study Room

書斎



背後の壁に山の絵を飾り、強い後ろ盾を象徴する玄武に守られた書斎

集中力はデスクレイアウト次第

ここでは、書斎や勉強部屋などデスクワークスペースについて話します。「座る場所」に風水の四神相応の考え方を当てはめることで、理想的な机の配置と向きを決めることができます。風水レイアウトでデスクワークスペースをつくと安心感が得られるので、集中力が上がります。書斎や子ども部屋の間取りを見る時は、理想的な机の風水レイアウトをイメージします。

四神相応の考え方はシンプルです。背中に玄武となる壁、前方に朱雀となるドアを探します。背後が壁に守られ、前から入ってくる人がすぐに見える環境は、無意識レベルで安心できます。

日本では「机は壁や窓に向けるもの」と考えている方が多いようです。しかし、背後にドアがある環境や背後に人が通るような環境は、精神面でも情報面でもセキュリティが弱くなります。

仕事や勉強と一言でいっても、作業内容により適した空間も異なります。創造的な仕事をする時は「陽」の気が強いほうがクリエイティブなアイデアが浮かびます。天井が高く、前方が広く開けている空間です。一方、PCに向かい集中して作業する時は、「陰」の気が優勢な閉じられた空間のほうがはかどります。脳の使い方、作業内容に応じて仕事をする空間を使い分けて下さい。



Check List 氣の流れチェックリスト(書斎)

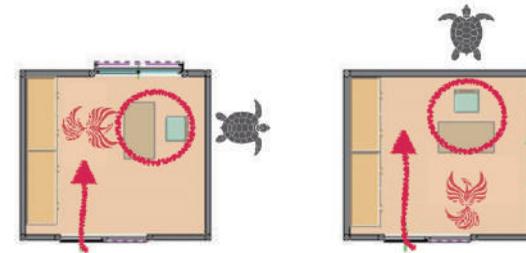
★ 間取り図でチェック

- 理想的な配置で机を置くことができる
- 目の前、背後にドアがない
- 目の前、背後に窓がない
- 適所適量の収納システムが整っている
- 子供が小さい時に勉強するスペースは、奥まった場所ではなく、親が様子を見やすい場所になっている
- 勉強に集中できるよう、机に向かって座っている時にベッドが視界に入らないよう配置できる

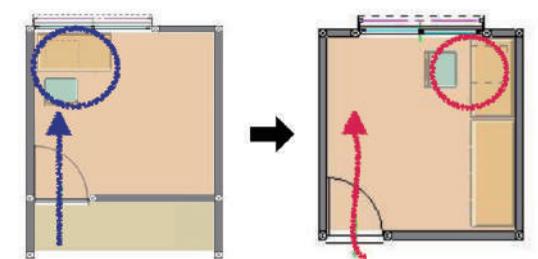
● 現場でチェック

- 直感的に、おだやかな氣が流れ、心地よいと感じる
- 理想的な配置に机を置いた時に、鬼角による悪い氣が、前後左右から座っている身体に向かっていないので安全
- 理想的な配置に机を置いた時に、適切な動線を確認して、ゆとりがある
- エアコンの風は、直接デスクワークをしている時に、身体にあたらず書類が飛び散らない

風水デスクレイアウトの基本



机の配置 改善事例



NG

OK

背後にドアがあり、直線的なスピードの速い氣が背中に当たり、集中できない。目の前に窓があり、外の様子が気になり落ち着かない

氣のとどまりやすいコーナーに机を配置。ドア側に机を向けるにはスペースが足りない時は、背中が一直線にドアに向かないようにレイアウトする

1. 机の向きを決める

入口ドアの対角線上の壁を見て、椅子の背後にくる玄武となる壁を決める。座る向き(前方)をドア側へ向ける

2. 明堂を確保する

風水では、前方の開けたスペースである明堂に財運がとどまると考える。机を配置する時も前方に財運のとどまる開けたスペースを確保する。壁に向ける場合、理想は机の奥行きを800mm以上取る

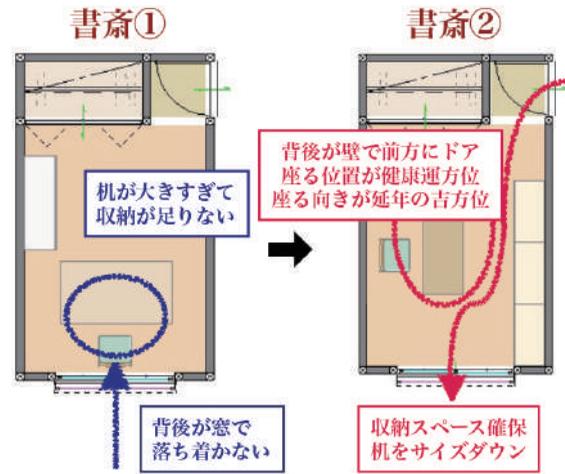
3. 動線を確保する

椅子と背後の壁の間は、900mm～1500mm程度の動線を確保する

Desk Layout

書斎の風水レイアウト

最強のパフォーマンスを発揮する



書斎②壁と机の間の動線1000mm、机の奥行600mm、机と本棚の間の動線600mm、本棚の奥行400mmで、合計2500mm

四神相応 社長室レイアウト

書斎のレイアウトを考える時は、机の配置と机のサイズ、収納スペースのバランスを考えてから家具を買くと、間違いがありません。

引越し前の時点では、書斎①のように、奥行900mmの机を考えていました。しかし、そのサイズにすると、この部屋（7畳）では、十分な収納スペースを確保できないことがわかりました。サイズダウンの必要性があることが事前にわかったので、奥行600mmの机を購入しました。

実際のデスクレイアウトが、書斎②です。玄武の壁に背を向けると、個別運勢方位の吉方位に机を配置でき、さらに、座る向きも吉方位に向けることができました。四神相応でも、個別運勢方位でも風水的に大吉レイアウトのため、集中できて、仕事が本当にはかどります。

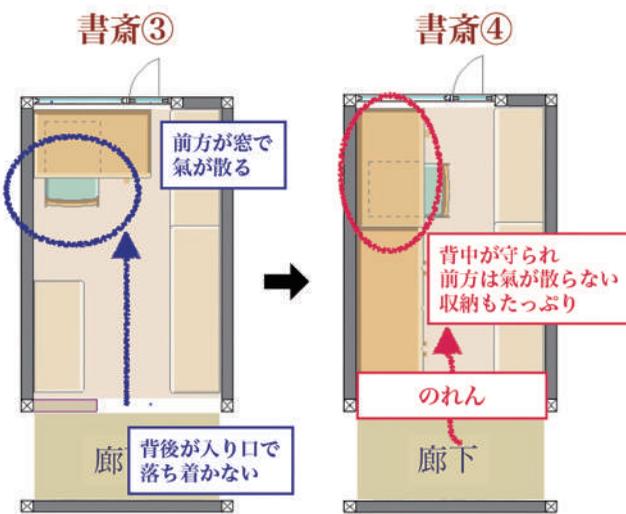
3畳でも風水レイアウトの書斎

書斎③は、日本の住宅でよく見かけるデスクレイアウトです。目の前が窓、背後が入口になっているため、気が速く流れ、気が散り、集中できません。

書斎④が改善案です。座る向きを壁側にし、後ろに収納をもってきました。入口にのれんをかけることで、生活動線となっている廊下からの視線の流れを、穏やかにしています。

背後にオープン型の本棚を置くと、本の角が鬼角となって背後から攻撃します。一方、本棚は前方に置いて、カラフルな背表紙で視界がごちゃごちゃとすると気が散りやすくなります。本棚は扉付きがおすすめ。

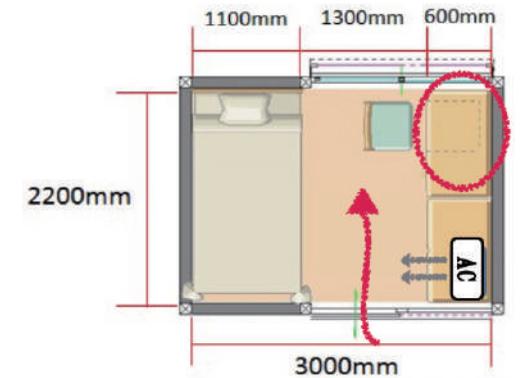
机の奥行き800mm、動線900mm、本棚の奥行300mmで、横幅が合計2000mmあれば、風水レイアウトの小さな書斎が出来ます=書斎④。



子ども部屋の風水レイアウト



4畳の場合



6畳の場合



Lily's Eyes

勉強に集中して、質の高い眠りを

子ども部屋は、勉強する、眠るなど、複数の機能が混在するスペースです。それぞれの機能がぶつかり合わないよう、視線の流れを上手く利用すると気持ちの切り替えも楽にできます。ベッドが視界に入らないように机を配置すると、勉強に集中できます。

これは、大人の書斎をつくる時も同じです。寝室には仕事をするための机は置かないように。仕事が気になって交感神経を刺激してしまいます。副交感神経を優位にしたい寝室では、ぐっすり眠りづらくなります。

上図では、日本の住宅事情で現実的な子ども部屋のレ

イアウトを4畳と6畳のパターンで描きました。子ども部屋で使う家具は、机、ベッド、収納家具といケースが多いと思います。4畳というコンパクトな部屋でも、ドアと窓の位置が適切であれば、風水レイアウトが可能です。

見ておわりの通り、全てが理想的な風水ではありません。机の奥行きは600mm。ドアの正面に窓が来るのは、気が速く抜けるため通常はできるだけ避けます。しかし、完璧にこだわりすぎないことも住心地の良い部屋をつくるために必要です。快適に過ごすための優先順位をつけ、可能な限りの風水を取り入れて下さい。

Living & Dining

LD



自分も家族も幸せになれる空気感

パブリック空間のLDは、玄関から近いことが理想です。しかし、玄関からリビングが丸見えの間取りは、落ち着きません。このような場合は、琉球民家のヒンプンの機能を使い、目隠しがあれば快適に過ごせます。トイレや個室などのプライベート空間の前を通らずに、玄関からLDへ入る動線は、プライバシーが守られ安心です。

リビングはソファの配置次第で、快適さが決まります。TV配線の位置により、おのずとソファの配置も決まるでしょう。入口から入ってくる人を前方から迎え入れるようにソファを配置します=①A。

ソファの背後が壁だと安心ですが、リビングのような開

放的な空間で^{しじんそうおう}四神相応にこだわると、置き場がなくなります。「ソファとダイニングチェアの真後ろに入口がこない」ここだけは守って下さい=①B, ②。座る位置の真後ろにドアが来ると落ち着かず、長く座ってられないため、家族の会話が少なくなります。

現地見学では、座る位置の頭上に梁がないか、鬼角が向いていないか確認を。エアコンの設置場所から風の流れて、風が身体に直接あたらないか確認します。

モノがたくさん集まる場所なので「魅せるもの」「見せないもの」を分けます。暮らしの中で使うモノは隠す収納に。魅せるものはディスプレイしてLDを彩ります。



Check List 氣の流れチェックリスト (LD)

★ 間取り図でチェック

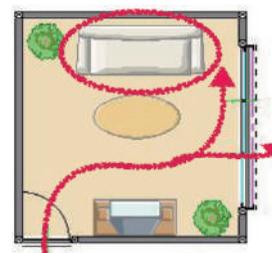
- 玄関ドアからリビングが直接見えず、プライバシーが守られている (=玄関①)
- トイレや個室などのプライベート空間の前を通らずに、玄関からLDへ入ることができ、プライバシーが守られている
- ソファは風水の良いレイアウトで配置できる=①
- ダイニングチェアは風水レイアウトで安心して食事ができる=②
- 座る位置に向かっている鬼角はない。とがった先から生じる鋭い氣で怪我などの不安がなく安全
- 適所適量の収納システムが整っている。片づく仕組みが整っている
- ディスプレイで美しく彩ることができる環境がある

● 現場でチェック

- 直感的におだやかな氣が流れ、心地よい
- 光と風、自然の良い氣が十分に入ってきている
- 窓からの眺めは良く、幸福感がある
- 座る位置の上に梁やエアコンがないので、氣が混乱せず快適
- TVや電話の置き場所は適切。電話やインターネット配線は、きれいに配置でき快適な生活を送れそう
- ドアや造り付け収納の扉は、パブリック空間に見合った上質感がある
- ドアや造り付け収納の扉は、イメージしている理想の家具とテイストが合っている
- エアコンの風が座っている体に直接あたらない

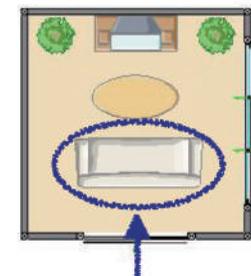
① ソファのレイアウト

A 好ましい配置例



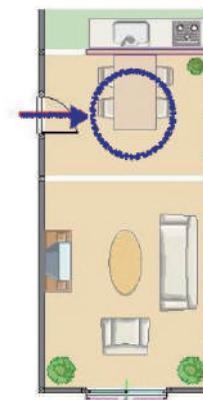
ソファは扉を向き、入口から入ってくる人が見えて安心。ソファの後ろは壁で保護され守られている

B 好ましくない配置例



ソファの真後ろに入口があり、人が入ってきても気づきにくい。背後が無防備で、不安になり、悪い氣を受ける

② ダイニングチェアのレイアウト



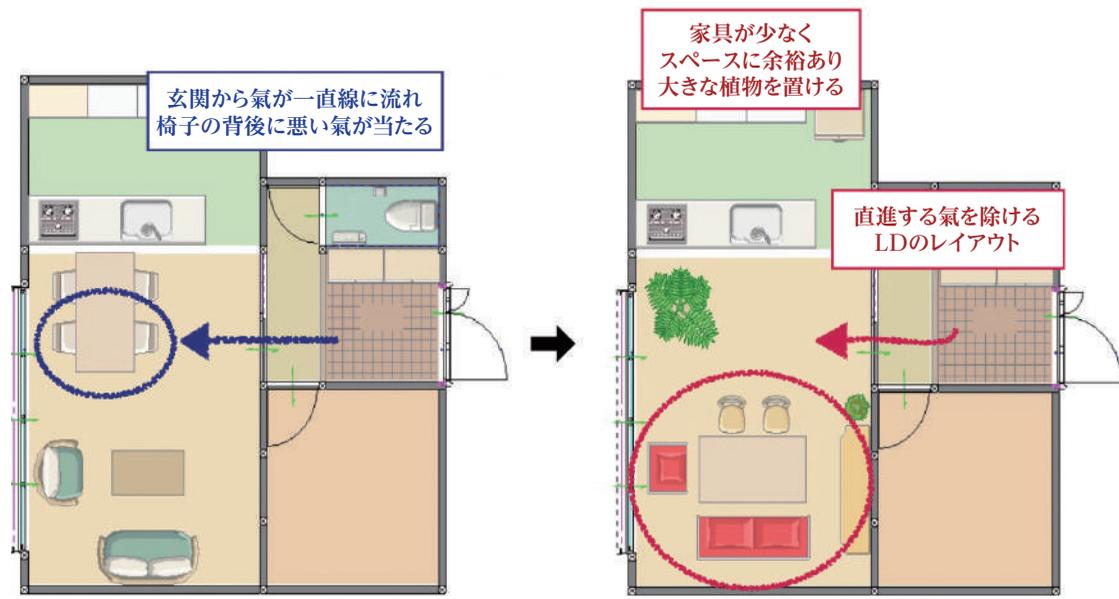
背後に入口がくると、座っている人が落ちつかない。ドアと椅子が接触する原因にもなり、危険である。

ダイニングチェアがこのような位置にある家庭では、なんとなくダイニングでは食事をしない習慣になっていた。入口を背にしていたダイニングチェアの位置を変えただけで、家族の会話が増えた報告は多数ある

Sofa Layout

LDの風水レイアウト

入居前の家具レイアウト設計がお得



賃貸住宅に入居する前に、風水の良い家具レイアウトを設計し、最適な家具を購入してから引っ越しをした事例です。この部屋の電気配線を見ると、LDには天井に照明を取りつけるための配線器具が2ヶ所ありました。照明の位置から、設計時に想定されたダイニングテーブルの配置がわかります=①。ダイニングチェアの真後ろは、LDのドアと玄関ドアが一直線になっています。

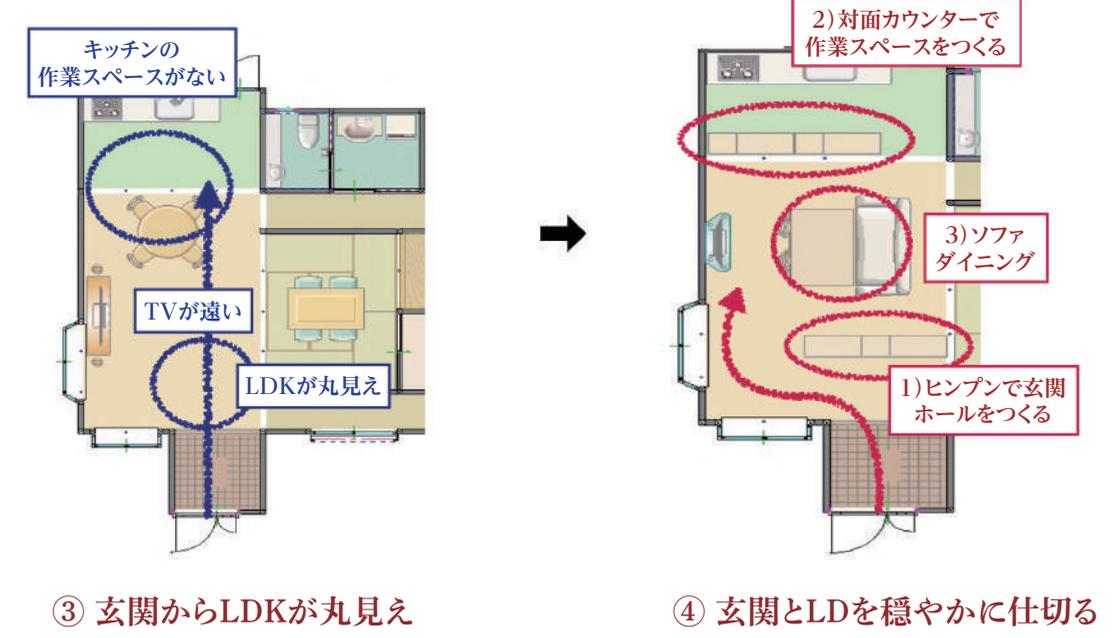
このダイニングチェアのレイアウトでは、玄関から入ってくる強い氣が背中にダイレクトにぶつかってきます。落ち着いて食事をするのが難しいことは、簡単に予測できます。すぐに席を立ってしまうので家族の会話もゆっくりで

きない家になります。

10畳のコンパクトなLDでしたので、ソファダイニングをご提案しました=②。この配置ですと、玄関からスピードを上げて入り込む悪い氣を、誰も受けずに済みます。間取りが悪くても、入居前に心地よく過ごせる家具の置き方がわかれば、快適に過ごすことができます。

住み始めてから心地悪さに気づくデメリットは、家具の買い替えが簡単にはできないことです。物件の契約はスピードが命。引っ越しが決まった時には、風水設計できる力があると家具選びも安心して楽しむことができます。

玄関とLDの氣の流れ改善事例



Lily's Eyes

オープンな間取りは仕切り方次第

中古物件を購入後、なかなか快適に住めないご相談をいただきました。間取りを見ると、玄関からLDKが丸見えです=③。琉球民家のヒンプンの考え方を使い、改善プランをご提案しました=④。

玄関ドアを入れて正面にパーテーションを置き、玄関ホールに相当するエリアをつくりました。これで、LDのプライバシーが守られます。次にキッチンがI型で作業スペースと収納が足りないことが、住み心地の悪さの原因でした。キッチンをII型にして、対面キッチンにリフォーム。十分な作業スペースと収納が確保できました。

LDはTV配線の位置に合わせてソファを置きました。10畳のLDでは、ダイニングテーブルとソファを別々に置くと、家具が多く圧迫感を感じる広さです。ソファダイニングをご提案しました。氣が巡るためには十分な余白があることも、風水の良い間取りの条件です。

オープンな空間は広々として魅力的です。しかし、心地よく暮らせるかどうかは、空間の仕切り方次第。氣の流れ方により、快適にも不快にもなります。



壁で仕切ると狭く感じてしまう空間には、抜けのあるパーテーションを。プライバシーを守る機能性に加え、デザイン性の美しさも楽しめる